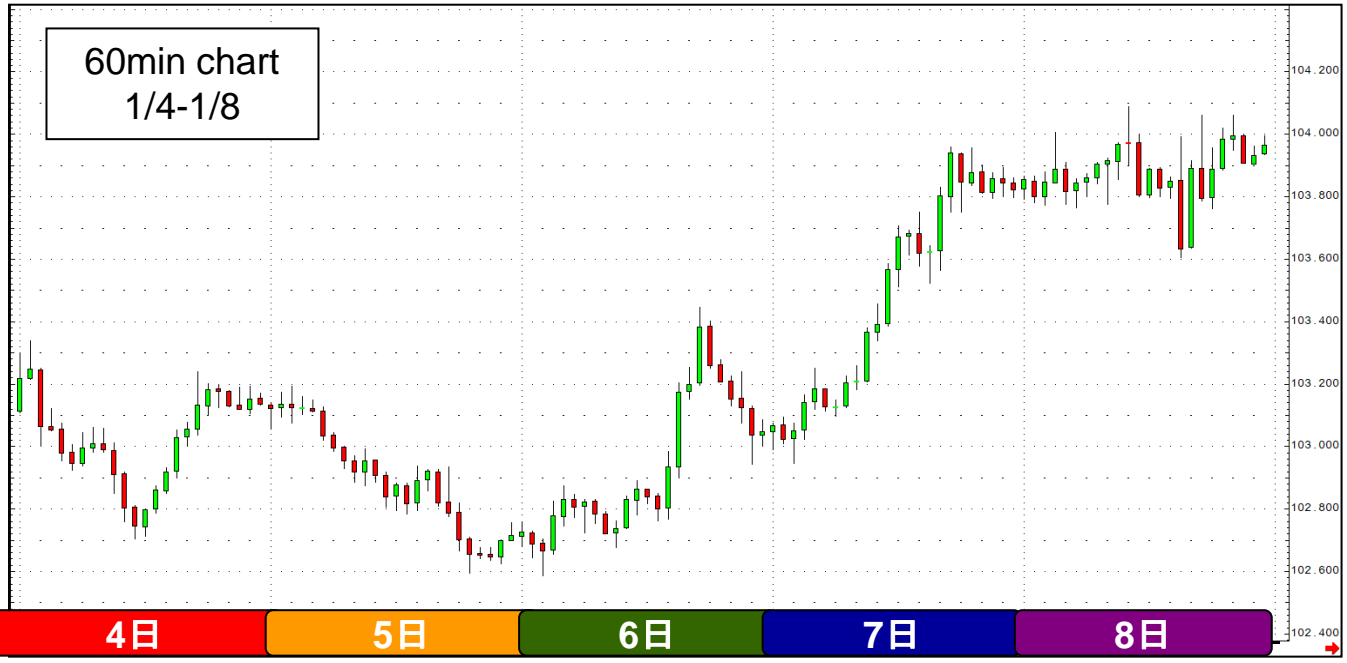


60min chart  
1/4-1/8



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**4日**

週内に1都3県で緊急事態宣言が発令されるとの報道が伝わり、日経平均株価が下落。ドル円は一時102.71円まで売りに押された。もっとも、NY時間に入ると103円台を回復するなど売りも続かなかった。

**5日**

ドル円は対人民元などでドル売りが進んだことから弱含み。海外時間に入っても原油先物価格の急伸などを手掛かりに対資源国通貨などでドル売りが進んだため、一時102.61円まで値を下げた。

**6日**

米ジョージア州決選投票で民主党の有利が伝わり、民主党が上下両院で多数派となることから大規模な財政出動などの政策運営を進めやすくなるとの見方が浮上。米長期金利が上昇するなか、ドル円も103.44円まで値を上げた。ただ、その後に米議事堂周辺に集まったトランプ大統領の支持者の一部が暴徒化し、議事堂が閉鎖されると一時102.94円付近まで下押しした。

**7日**

市場では「海外勢からドル円と日本株に買いが入った」との指摘もあり、ドル円はアジア時間から買いが先行。米ジョージア州の決選投票で民主党の勝利が確実となり、民主党政権下での追加経済対策期待から米長期金利が上昇したため、その後も買いの流れが継続。一時103.96円まで上値を伸ばした。

**8日**

米12月米雇用統計で、非農業部門雇用者数が前月比14万人減と予想の7.1万人増に反して減少したことを受けて、ドル円は一時103.60円まで弱含んだ。もっとも、その後は米長期金利の上昇を手掛かりにした買い戻しが入り、104円台を回復した。

**総括**

先週のドル円は堅調な動きとなった。週明けからドル売りが先行したものの、その後は買い戻しが優勢に。米ジョージア州決選投票で民主党が勝利し、同党が大統領と上下両院の過半数を占める「ブルーウェーブ」が実現。追加経済対策への期待が高まるなか、米長期金利が上昇したため、全般にドル買い戻しの流れが強まった。ドル円も8日には一時104.09円まで反発。6日にトランプ大統領の一部支持者が米議事堂を占拠したことや、8日発表の米雇用統計で非農業部門雇用者数が予想に反して減少したことでドル売りの反応が見られる場面もあったが、いずれも反応は一時的だった。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
5日	24:00	火	USD	ISM製造業景況指数	*	12月	57.5	56.5	60.7
6日	22:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	12月	30.7万人	8.8万人	-12.3万人
6日	28:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
7日	19:00	木	EUR	HICP速報値	前年比	12月	-0.3%	-0.3%	-0.3%
7日	24:00	木	USD	ISM非製造業景況指数	*	12月	55.9	54.6	57.2
8日	22:30	金	CAD	新規雇用者数	*	12月	6.21万人	-2.75万人	-6.26万人
8日	22:30	金	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	12月	24.5万人	7.1万人	-14.0万人

一言コメント・・・米民主党が10年ぶりにホワイトハウスと上下両院を支配して「ブルーウェーブ」が実現したことで、財政出動への期待感から米株式市場は史上最高値を更新。米長期金利も上昇しており、ドル買いを誘いました。ISM製造業、非製造業指数が予想を上回ったこともドルの支援材料となりました。

## 先週の注目された要人発言

4日11:09 菅首相「緊急事態宣言の検討に入る」「コロナ特措法改正、通常国会に提出する」  
 5日00:40 エバンス米シカゴ連銀総裁「経済は非常に低い金利の期間に備える必要がある」「年が進むにつれてウイルスが制御下に置かれることを期待している」「米国のインフレ率が平均で最大2%になるまでには数年かかる可能性がある」  
 5日05:05 ジョンソン英首相「5日からイングランド全体のロックダウン(都市封鎖)を開始」  
 6日05:47 エバンス米シカゴ連銀総裁「FRBの政策は長期間緩和的だろう」  
 7日01:11 ベイリーBOE総裁「マイナス金利が選択肢の中にあることは重要」  
 7日03:01 ペンス米副大統領「選挙人票を決定する権限は私にはない」  
 7日04:00 FOMC議事要旨「全ての当局者が現在の資産購入ペースは適切と認識」「数人の当局者は、財務省証券購入の加重平均満期を延長することにオープン」  
 8日01:39 シューマー米上院院内総務(民主党)「トランプ氏はすぐに罷免されるにふさわしい」  
 8日04:26 ペロシ米下院議長「ペンス副大統領が合衆国憲法修正第25条(大統領が職務を遂行出来なくなった場合の権限移行)を適用するか早急に決断することを期待している」「民主党はトランプ大統領の弾劾を求めている」  
 9日01:57 ペロシ米下院議長「錯乱している大統領はより危険だ」「(トランプ米大統領のよる)軍事的敵対行為や核攻撃を防ぐために注意しなければならない」「トランプ米大統領の核発射を防止する措置を整えた」

一言コメント・・・トランプ大統領が大統領選の結果を認めず、煽られた支持者が議会議事堂へ乱入。異例の事態となりました。「現職大統領が煽った」と多くの非難が集まりました。ペロシ下院議長はトランプ氏が辞任しなければ、弾劾手続きを進める意向を表明しています。トランプ氏が議事堂乱入を扇動したことについては「大統領としての精神状態を疑問視している」として、「トランプ氏の核発射を防止する措置を整えた」と明らかにしました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
13日	22:30	水	USD	CPI	前月比	12月	0.2%		0.4%
13日	28:00	水	USD	ページブック	*	*	*	*	*
14日	26:30	木	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
15日	16:00	金	GBP	GDP	前月比	11月	0.4%		-4.8%
15日	22:30	金	USD	小売売上高	前月比	12月	-1.1%		0.0%
15日	22:30	金	USD	PPI	前月比	12月	0.1%		0.4%
15日	23:15	金	USD	鉱工業生産	前月比	12月	0.4%		0.4%

今週の注目は・・・FRB議長発言

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。